

2016年6月19日

約5年前 東京都ベスト8 決めで都内の私立高校に敗れ引退をしてからそれなりの月日が経過した今、自分自身、バスケットボールというスポーツとは接点が減ってしまいましたが、20年近く生きてきた中でバスケットボールというスポーツが自分自身に与えてくれた影響、ひいては、ここ東大和高校バスケットボール部での3年間の生活が後



の自分にとって絶大なる影響を与えてくれたことは、間違いないと自分の中では捉えています。

そこで今回は、自分たちの代のエピソードや当時の心境なども交えつつ

"昔の自分にもし出会えたら、こんなことを伝えるだろう・・・"

と思うようなことを1つだけテーマにして僭越ながら書かせていただきます。

それが

『相場に囚われるな、マインドブロックを外せ!』 です。

自分たちの代はですね～。春の大会では、あと1勝すれば・・・

『**創部44年以来初の関東大会出場!**』というところで奇しくも敗退』

夏の最後の大会では、あと2勝すれば・・・

『**東京都ベスト4 インターハイ、高校総体も夢じゃない!**』ところで敗退し引退』

というような戦績でして、春の大会も夏の大会も敗れた相手は、皮肉にもその後、関東大会・インターハイに出場していました。

他には、愛知県ベスト4の私立高校や毎年全国常連で名を連ねる熊本県の私立高校だったりその他、多数・・・自分たちの代は全国大会に出ないと対戦する機会すらないような学校とも対戦することができたりしたような代だったんですよ。

僕自身、小学生からバスケットボールをしていたのですが、今まで全国区の学校とまともに対戦した経験はありませんのでそれはそれは、もう貴重な経験でした。

でもですね、先ほどお伝えした通り今まで、強豪という強豪の学校と対戦してこなかったという事実経験も乏しい。おまけに、ろくに勉強してこなかったため考え方や捉え方、メンタル面、あらゆる事において未熟だった。

当時の自分自身の心境は以下こんな感じですよ。

"相手は全国区の私立高校だから通用するわけがない・・・"

"自分たちは全国大会どころか関東大会にすら出たことないから無理・・・"

"強いからどうせ勝てない・・・"…etc

"強豪が勝つに決まってるよ"

自分たち以外の周りの大多数の人間が思ってるから、勝てない・・・"

きっと、あるあるですよ。

あのですね、これホントに重要なんですけど、将来、やりたい事・実現したい事、いわゆる未来の事柄に対して、

"過去、昔がどうだったか"とか、"今、出来るのか出来ないのか"とか、"周りはどう思っているのか"

なんて本当に関係ないしどうでもよくて、大事なものは、

"未来の自分がどう在りたいか"

"世間の声や周りの意見ではなく、自分自身はどう在りたいか"

なんですよ。

人間、生まれたての赤ん坊の頃って歩くことはおろか喋ることも、字を書くことも字を読むことも、泣くことくらいしかできない。ほぼ何もできない状態から、み～んなスタートじゃないですか。

その生まれたての赤ん坊に対して親が

"ウチの赤ん坊は歩くことも、喋ることもできていない・・・"

泣いてることしかできていない・・・"



もう、お先真っ暗で絶望だ・・・"

なんてこと、言うわけなくないですか？（笑）

生まれたての赤ん坊は、泣くことくらいしかできない状態でも成長を経て立って歩けるようになり言葉を覚えて喋れるようになり、字を覚えて書けるようになり読めるようになるじゃないですか。

バスケットに関しても一緒ですよ。

はじめたての頃はドリブルすらままならない状態だったのに

レイアップができるようになりレグスルーができるようになり

遠距離のシュートが打てるようになったり・・・etc

人間、みんなそうやって今まで出来なかったことがちょっとずつ出来るようになっていったはずなのに、そこそこの年齢になると、急に現実を見始めるといいますか、

"これが今 僕たちの出来ることなんです"

"僕たちはこんくらい人間なんです" みたいな

勝手に自分達で相場を決めつけてしまう時期がくるじゃないですか。

あれ、ホントに意味が分からんです（笑）

"小学校、中学校で全国大会に出たことないから

インターハイには出れない・・・"

"強豪校と対戦したことないから、勝てるはずがない・・・"

"都立高校は、インターハイ、関東大会には出れません・・・"

東京都ベスト 32、ベスト 16 いけばいいほうです"

誰が決めましたそんなこと？

それ全部自分達の勝手な思い込みなの、いい加減気づきましょうよ

これが、僕が冒頭のテーマで伝えたい要旨の

『相場に囚われるな、マインドブロックを外せ！』です。

過去、どうだったか、今がこうだから・・・とかホントにホントに関係ないです！

僕は当時、自分の可能性をこの勝手な思い込みによって狭めていたためとても後悔しています。

だから、他の人にはやっぱり後悔して欲しくないんですよ～。

お願いですから、未来の自分の可能性を勝手に狭めるのやめませんか？（笑）

もっともっと 自分の願望、欲に素直になりましょ。

だって考えてみてくださいよ。ライト兄弟やエジソンがもし

"電気や、飛行機 今まで作った人、発明した人

見たことないし事例がないから、自分たちには作れないよな・・・

無理無理！ 諦めよ～っと・・・"

って思ってたら、極論、今、電気や飛行機が存在していなかったのかもしれないですよ？（笑）

電気のない世界とか想像してくださいよ。今なかったら、めちゃくちゃ困りませんか？

でもエジソンは、相場に囚われなかった、自分の可能性を信じたことによって、今の自分たちの便利な世の中があるんですよ。

伝わります？

未来の自分たちの可能性を

自分自身の勝手な思い込みによって可能性を狭める

諦めるってとても愚かなことだと思いませんか？

自転車に今、乗れないなら

たくさん練習して、乗れるようになればいいって話ですよ？

自転車に今乗れないから

一生、自分は自転車に乗れないんだ・・・

これがいかにおかしい発想かは、伝わりますよね？（笑）

人は必ず変われます。

なりたい自分にもなれます。

強い気持ちと執着、情熱さえあれば・・・！

それを念頭に、少しでも参考になれば嬉しいです。

44期 代表 桑名祐輔

